ボーリング柱状図

調　査　名　　平成26年度　公営住宅弥永住宅新築工事　地質調査委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.1	調査位置	福岡市南区弥永団地内					北緯	33°31'49.7"
発注機関	福岡市住宅都市局　住宅部住宅建設課			調査期間	平成26年10月6日 ～ 26年10月6日			東経	130°26'05.6"
調査業者名	平成地研株式会社 電話(092-575-0340)	主任技術者	内田　賢次	現場代理人	松元　博康	コア鑑定者	松元　博康	ボーリング責任者	小田　暁生
孔口標高	17.49m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 0°	使用機種	
総掘進長	10.00m								
試錐機	東邦式D0-D型			ハンマー落下用具	半自動落下				
エンジン	ヤンマー式NFD10型			ポンプ	東邦式BG-3C型				

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1	16.29	1.20	1.20		埋土・砂質土	黄褐灰～褐灰			マサ土による埋土 細粒分を多く含む細～粗粒砂からなる	
2	15.29	1.00	2.20		砂質シルト	褐灰			非常に軟かい 微細砂分を多く含む低含水状のシルトからなる 径5mm前後の細礫を点在する	
3	14.49	0.80	3.00		砂	褐灰	緩い		細～中粒砂を主体とする 細粒分を少量含む	
	13.99	0.50	3.50		礫混り砂	褐灰	中位の		粒子不均一な細～粗粒砂からなる 径2～20mm大の小礫を多く含む	10/6 3.30
4					砂礫	茶褐	中位の		礫は径2～30mm大の花崗岩の小礫を主体とする マトリックス(基質)は細粒分を含む中～粗粒砂を主体とする 目視による混礫率は50～60%程度	
5	12.29	1.70	5.20							
6					強風化花崗岩・砂質土	黄灰～淡黄褐灰			コアは原岩組織を留めるが、風化が著しく進行し固結した粘土質砂状を示す コア中には全般に粘土分が多く含まれ、径10mm以下の軟質未風化礫を残存する	
7	10.49	1.80	7.00							
8					風化花崗岩・風化軟岩	淡緑灰～淡緑褐灰			風化軟岩状を示す コアは原岩組織を留めるが、岩質は脆く指圧～ハンマーの軽打にてボロボロに砕け細片化する程度の硬さ	
9										
10	7.49	3.00	10.00							10/6
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										

標準貫入試験 深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	1	1		2／30	2
1.45					
2.15	2	3	2	7／30	7
2.45					
3.15	5	6	5	16／30	16
3.45					
4.15	6	8	7	21／30	21
4.45					
5.15	7	6	7	20／30	20
5.45					
6.15	10	11	12	33／30	33
6.45					
7.15	20	23	7／3	50／23	65
7.38					
8.15	13	22／5	15	50／25	60
8.40	50／5			50／5	300
9.00					
9.05					
10.05	50／5			50／5	300
10.10					

原位置試験 深度(m)	試験名および結果

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法
3.15	3	㊀
3.45		

室内試験（　）
粒度

掘進月日
10／6